

寅さん歩 その22

東京2020 聖火リレー-5

～奈良県・大阪府・

徳島県・香川県～



写真右上は東京2020オリンピックの聖火リレーのトーチを掲げる平野寅次郎こと平野武宏です。全国のウォーキング大会を映画「男はつらいよ」の寅さんのように歩き回ったので妻の友人から「平野寅次郎」と命名され、ペンネームとしています。写真は都庁でのトーチ公開時に撮影しました。パラリンピックのトーチも色違いであります。

東京2020大会の聖火は2020年3月26日に福島県をスタートし、移動日を含む121日をかけて47都道府県を回り、7月24日の開会式会場に到着します。

なお、2019年11月30日に完成した「新国立競技場」は2019年12月15日の竣工を終え、「国立競技場」と呼ばれます。

寅次郎、八柳修之さん作成の「バーチャルウォークで沖縄から新国立競技場へ聖火を運ぶ（仮想コース）」を行い、通過した都道府県の寅次郎のウォークの思い出と映画「男はつらいよ」で寅さんの恋の記録をお話ししました。

映画「男はつらいよ」は第1作の公開[1969年(昭和44年)8月27日]から50周年となり、記念して2019年(令和元年)12月27日に第50作「男はつらいよ お帰り寅さん」が公開されました。寅さん役の渥美清さんは1996年(平成8年)に亡くなっていますが、今までの作品の寅さんが技術を駆使して登場とのこと。

「寅さん歩」も映画の50周年を祝って一足早く全国の聖火リレーのコースを紹介しながら、前回のバーチャルウォークで通過しなかった道県での寅次郎のウォークの思い出と寅さんの恋をお話したいと思います。各県名の脇の月日は実際に聖火リレーが行われる月日で、コースはスタートとゴールの予定地です。なお、2019年12月17日聖火リレーの詳細が発表されました。

〔奈良県〕 2020年4月12日～13日

聖火リレーコースは4月12日 五條市～橿原市、13日 河合町～奈良市です。

奈良県は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー12」をご参照ください。

聖火は大阪府へ引き継がれます。

〔大阪府〕 2020年4月14日～15日

聖火リレーコースは4月14日 堺市～吹田市、15日 泉佐野市～大阪市です。

大阪府は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー12」をご参照ください。

聖火は徳島県へ引き継がれます。

〔徳島県〕 2020年4月16日～17日

聖火リレーコースは4月16日 三好市～鳴門市、17日 海陽町～徳島市です。

寅次郎、2006年(平成18年)3月開催の「第5回阿波えらいやっちゃツデーマーチ」に参加で訪れています。鳴門市撫養川親水公園をスタート・ゴールで第1日目は「BANDO ロケ村・歓喜の郷(バルトの楽園)」を訪ねるコースでした。第一次大戦時、鳴門市坂東は中国から送還されたドイツ兵の捕虜収容所(写真右)となり、地元民と捕虜の国境を越えた感動の交流があり、解放時に感謝の気持ちを捧げたドイツ兵によるベートーベン作曲「交響曲第九番 歓喜の歌」が日本で初めて演奏された地です。この物語は映画化され「バルトの楽園」(写真右下)として2006年6月に上映されています。



ロケで使ったオープンセットがロケ村として公開され、この時のコースに組み込まれました。

阿波踊りのストレッチ体操後のスタートでは、受付で再会した女性の大会スタッフから指名され、全国からのウォーカーの前で「檄」を飛ばす初体験です。四国遍路道は徳島から始まります。2番札所の「極楽寺」で白装束のお遍路さん達に出会いました。又、バスで移動の若い女性が多いのに驚きました。お遍路は懺悔や安らぎ・癒しを求める「わけありの人達」と思っていた寅次郎、若い女性に動機を



尋ねると「どんな所か見たかったの～」と八重歯のかわいい笑顔が印象的でした。ロケ村では自転車でお遍路の女性に、懲りずに動機の質問すると「卒業なのでけじめにしたいの～」との回答に「やっぱりか」と呟く寅次郎でした。大勢の人とお線香の煙一杯の1番札所「霊山寺」を經由してゴール。ゴール後はツアーバスで渦潮観潮でスリルと迫力に歓声。大橋下では瀬戸内海と太平洋が潮待ちで出来る海の段差を初めて見ました。



2日目は鳴門海峡と鳴門ウチノ海を巡るコースです。鳴門小橋、大鳴門橋の雄大な眺め、ウチノ海での鳴門ワカメの採りいれ・加工作業を見ました。最後は土佐泊から岡崎まで3分の渡船。島を歩いていたのを再認識してゴール。帰りはツアーバスで淡路島の温泉で汗を流し、神戸中華街の夕食と神戸市役所展望台から大震災から立ち直った100万ドルの夜景を楽しんで朝帰りの寅次郎でした。

映画の寅さん、1980年(昭和55年)12月公開の第26作「男はつらいよ 寅次郎かもめ歌」の商売で阿波徳島にラストシーンで現れています。

この作品は北海道の奥尻島や江差でのロケがあり「聖火リレー14 北海道-2」でお話しします。

聖火は香川県へ引き継がれます。

[香川県] 2020年4月18日～19日

聖火リレーコースは4月18日 宇多津町～観音寺市、19日 坂出市～高松市です。

香川県はオールジャパンウオーキングカップ(47都道府県のJWA認定ウオーキング大会)を完歩、達成した寅次郎の思い出の地です。

2006年(平成18年)「第4回讃岐うどんツルツル ツーデーウオーク」に参加しました。

第1日目は坂出駅前市民広場がスタート・ゴール。お遍路の「ご接待の心」とは与える方は「私利私欲の無い美しい心」、受ける方は「素直の心」と大会会長の挨拶で学びました。讃岐は「弘法大師(空海)」の生誕の地・保元の乱で敗れ、讃岐に流され崩御した「崇徳上皇」や「西行法師」のゆかりの史跡が残されたコースでした。四国霊場第79番札所の天皇寺高照院は開祖が空海で、崇徳上皇が崩御の折は都の指示を待つ21日間、八十場の冷水に浸し損腐を防ぎ、

この寺に安置したそうです。冷水を利用した八十八(やそば)名物「ところてん」200円は美味しかったです。ゴールでは地元の方々による手打ち実演の讃岐うどんのご接待、一人1杯でしたが、容器の返却時にやさしいおばさまから「おかわりは？」と聞かれ「素直な心」でお受けしました。大会記念品も讃岐うどんでした。ゴール後はツアーバスで桜満開の金比羅宮へ。785段の階段はきつかったです。オールジャパンウォーキングカップ達成のお礼参りを済ませました。

2日目の出発式ではオールジャパンウォーキングカップ達成の表彰を受けました。(後日、295番目の達成と判明)今回の受賞対象は一人だったので舞台の上で全国から来たウォーカー・地元の皆様からの祝意を一身に受けました。

壇上から挨拶する場までいただき感激でした。会社生活時代から始めたので6年3ヶ月要しました。香川県ウォーキング協会からは記念品として讃岐うどんセットをいただきました。コースを歩きながら「おめでとう」と声を掛けられたり、「がっかり来ないようにすぐに次の目標を立てなさいよ」と励まされました。今回は生涯目標の一つで、まだ二つの生涯目標があります。それは世界最大のオランダのウォーキング大会(4日間)を歩くこと・地球一周四万キロを達成することです。



まずは自分をほめるとともに、あきれながら送り出してくれた妻、会社生活時代に休暇をカバーしてくれた職場の人達、例会と重なり迷惑をかけたFWAの皆様他、多くの皆様のご支援・ご協力の賜物と感謝しながら歩きました。

コースは瀬戸大橋の史跡や自然景観を楽しみました。ゴールではまた讃岐うどんのご接待と抽選会。5等賞で瀬戸大橋が描かれたうちわでした。バスツアーでうちわの産地の丸亀へ、丸亀城の石垣は見事です。その後は瀬戸大橋を渡り、鷺羽山展望台や鷺羽温泉の露天風呂から夕暮れの瀬戸内海を見納めました。家に戻り、日本地図に残された香川県を塗りつぶし、ダルマに満願の目を入れました。

映画の寅さん、1993年(平成5年)12月公開の第46作「男はつらいよ 寅次郎の縁談」で香川県に登場しています。就職戦線氷河期で苦戦の満男、いら立ちが募り父博と口論し旅に出てしまいます。入れ替わりに帰って来た寅さん、瀬戸内の志々島(映画では琴島)にいた満男の連れ戻しを安請け合います。一方、満男は島に通う看護師の亜矢(城山美佳子)に恋して柴又へ帰る気はありません。

寅さんも大阪から島に帰って来た葉子（松坂慶子）に一目ぼれ、似たもの叔父と甥は毎日楽しく過ごす始末です。

寅さんと葉子は金比羅宮や高松市の栗林公園を訪れてデートしています。満男は亜矢からセーターのプレゼント。こちらもうまくいきます。満男が葉子に寅さんの気持ちを伝えますが、「そんなことは本人から聞きたい」と葉子が怒ったと聞いた寅さんの満男との言い合いのシーンは見ものです。

寅さん、自ら葉子の前から立ち去ることを決意、満男を巻き添えに連れて島を去るシーンで満男に「男はあきらめが肝心だ」と伝えます。

「ふられの先輩」の言葉には重みがありました。



聖火は高知県へ引き継がれます。

平野 寅次郎 拝